

城西小学校は、『「分かる」「できる」が見える授業づくり～深い学びを生み出す授業を目指して～』をテーマに、特に算数科の授業を通して、児童に分かりやすい授業を目指しています。

## 1年「10までのかず」

教室で数図ブロックや教科書・ワークを使って「10までのかず」を数えたり書いたりできるようになった子ども達。「10までのかずたんけんたい」の活動では、校庭に出てブランコや花の数を数えて伝え合うなど、学校のいろいろなところに「10までのかず」があるということを楽しみました。



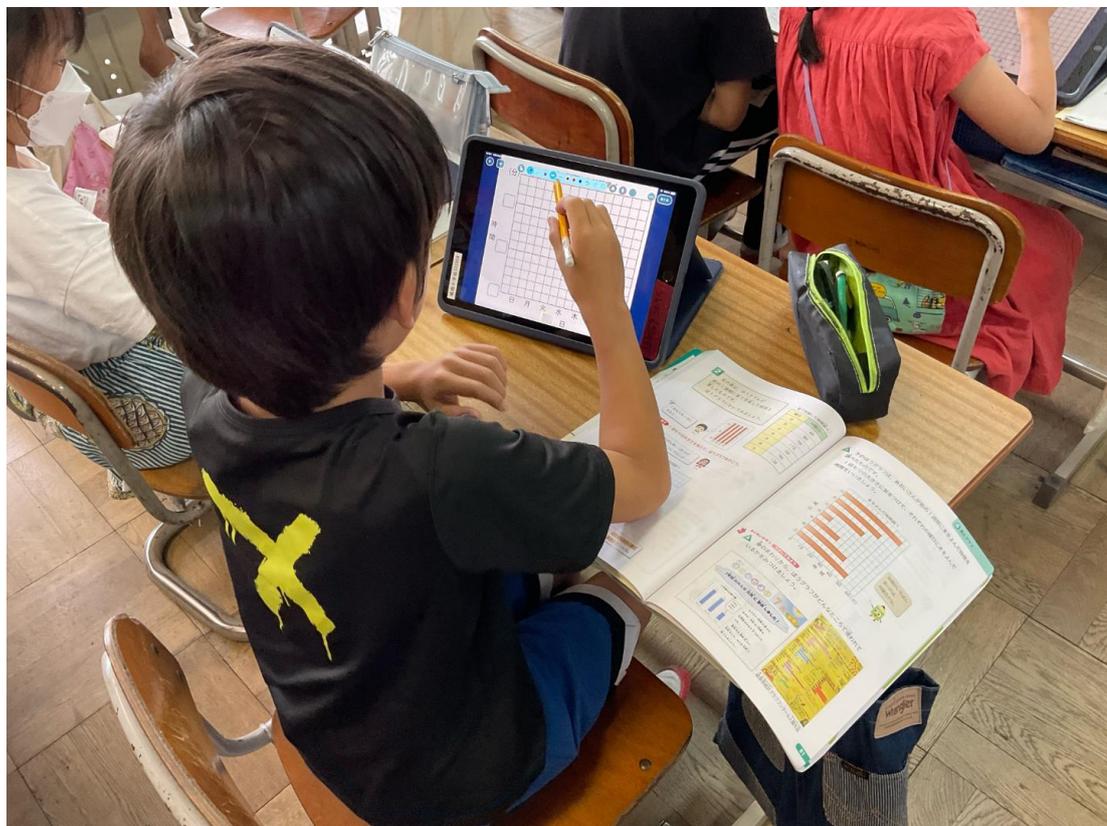
## 2年「かさ」

様々な容器に入った水の「かさ」を実際に測る活動を通して、「1L」「1dL」「1mL」という普遍的な単位があることを学びました。はじめに「1Lがいくつ分」で表すことをもとにして、それでも表せないことがあるから「1dL」を、さらにそれでも表せないことがあるから「1mL」を学んでいきました。「長さと似てる～」「1mmが10個集まったら1cmになるのと同じや～」という共通点を嬉しそうに見つけていました。



### 3年 「表とグラフ」

1目盛りが1でない棒グラフの書き方を考えました。ロイロノートを使って、友達の見解との違いを見つけたり、ヒントを得たりして、自分の考えをまとめました。読み取りやすい目盛りの大きさに変える良さに気づいていました。



### 4年 「小数」

小数では、10倍100倍や割る10割る100した数を考えたり、小数の足し算や引き算の練習をしたりしました。みんな集中して頑張っていました。



## 5年「小数のわり算」

小数のわり算では、1あたりに着目して問題を解きました。なぜ、わり算になるのかを図で書いて話し合い、班のメンバーを納得させている姿が印象的でした。四捨五入や余りなどに躓きながらも最後まで粘り強く取り組んでいました。



## 6年生 「分数÷分数」

タブレット端末を活用し、反転学習（自宅で予習し、授業でさらに学習する）にチャレンジしました。予習してきたことをもとに、友達と問題解決のためにたくさん話をしました。図を使うと式が立てやすいことを理解できました。

